

私たちの政務活動

平成25年度の政務活動費の使途を報告します

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会の会派に対して交付されるもので、伊那市では条例に基づき、会派の所属議員数に年額12万円を乗じた金額がその年度に交付されます。また、支出残額がある場合は市に返還しています。各会派の経理責任者は、毎年度、政務活動費の収支の状況を議長に報告することになっています。収支報告書は、議会事務局(市役所2階)で閲覧することができます。

会 派(人数)	活動費総額 (12万円×人数)	概算(見込み)支出額の内訳			残 額 (返金額)
		研修視察費	資料購入費	広 報 費	
新政クラブ(7人)	840,000円	837,811円	—	—	2,189円
平成クラブ(4人)	480,000円	498,140円	—	—	※ -18,140円
政和会(3人)	360,000円	264,260円	9,600円	—	86,140円
日本共産党(3人)	360,000円	69,365円	55,000円	235,635円	0円
公明党(2人)	240,000円	160,000円	80,000円	—	0円
市民の輪(2人)	240,000円	167,580円	67,805円	—	4,615円

注)支出額は3月末日に確定しますので、金額は概算(見込み)で掲載しています。 ※不足分は会派負担。

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-96-8149
FAX 0265-76-9117
E-mail: gk@inacity.jp

Vol.16

政務活動費の主な使途

■新政クラブ

黒河内浩・竹中 則子・飯島進
宮島 良夫・唐澤 千明・伊藤 泰雄
二瓶 裕史

○山口県山口市・秋市などを視察。「市民による協働のまちづくり」と「観光産業の振興、雇用対策」の手法を研修しました。

○千葉県流山市と文部科学省にて、「議会による情報発信のあり方」と「教育改革のあり方」について研修しました。



文科省にて総括審議官と懇談

■平成クラブ

中山 彰博・若林 徹男・橋爪 重利
平岩 國幸

○山口県周防大島町にて若者定住促進と体験型観光について視察しました。

○大分県日田市・大山町農協にて農業生産物の直販と6次産業化への取り組みを視察しました。

○福岡県柳川市にて地域ブランド

戦略構想を視察しました。

当市の持つ魅力や特産物などを利用して活性化に向けた取り組みを今後どのように進めるかを考えさせられました。

■政和会

柴 満喜夫・新井 良一・唐澤 稔

北海道札幌市で開催された「議員力アップ講座」に2名が参加しました。

主な内容は、「一般質問の意義と範囲、質疑と質問の相違点、また、議員定数問題の本質、要件などについて受講しました。

また、資料として「月刊ガバナンス」を年間購読料として購入しました。

■日本共産党

前澤 啓子・飯島 光豊・柳川 広美

毎週、市議会だよりを発行し、市議会や市政の報告や問題提起を行っています。また、政策を勉強する資料として書籍を購入しました。

研修視察では、京都府京丹後市に「200円上限のバスについて」と「クラインガルテン」の視察を行いました。(交通費のみの充当。)

■公明党

飯島 尚幸・前田 久子

○新政クラブとの合同行政視察で、流山市、文部科学省を訪れ、議会改革の現状と26年度予算などについて研修しました。

○NPO法人主催の地方議会議員研修会に参加し、定住人口の増加対策、まちおこしの好事例など研修しました。

○第18回アメリティフォーラムに参加。障害者差別解消法、社会保障改革の動向と今後の福祉について学習しました。

■市民の輪

若林 敏明・小平 恒夫

○徳島県徳島市で取り組んでいる環境リーダーの養成による協働の都市づくりを視察しました。

○同県神山町にて過疎地においてもインターネット環境を整えれば仕事を持つて移住してくる事例を視察しました。

○同県上勝町では葉っぱを商品化して高齢農家の収入増と福祉(生き甲斐)に結びつけた事例を学びました。

また、参考資料として書籍を購入しました。